

平成26年度穂高悠生寮事業報告

概要

穂高悠生寮は、平成26年度の法人基本方針に基づき、本年度の重点目標を「各サービス事業間の一体的運営と強化」とし、具体的な目標は次に掲げ、取組みましたので報告いたします。

- (1) 職員一人ひとりが広い視野を持ち、障がい福祉従事者としての基本姿勢を改める。
気付き、業務姿勢について更に教育指導が必要です。
- (2) 施設寮舎、設備等の維持管理に努め老朽対策を怠らない。
定期点検等により修繕、保守等即応性が高まりました。
施設整備につきましては計画通り運びました。
- (3) 各事業の適正運営と連動性を高める。
各事業の執行状況を月1回毎確認すると共に、情報の共有化、人的交流等により
徐々に連動性が高まってきました。

*入所利用者の相次ぐ重症化とご逝去に伴い、年度中(平成27年2月1日付)で入所定員を40名に指定変更をいたしました。経営的に耐乏耐久期間を短期、最小でしのげた事、計画事業(給水受水槽移設新設・薪作業用倉庫新設他)二千数百万円を取り崩しなしで行えたことが特筆に値します。

1. 支援サービス

- (1) 日中活動 (作業・活動・*ひより) (*ひより-通所生活介護・生活訓練)

生活介護利用者は、ゆったり安心できる環境を整えながら、一人ひとりが能力を発揮出来る生産活動をしています。生活訓練利用者は自立生活や就労に向けた支援を行いながら、多様な生産活動を行っています。

<活動別実施状況・利用者参加状況等資料>

(参加人員重複あり・人員()は本体利用者)

活動種別	内容・行程等	実施状況	人員	備考・収入等
マット	マット編み・色分け	通年実施 終日活動	16(6)	収入 328,190 円
薪	切断・ボヤ集め・籓詰め・薪運び・納品・草取り	通年実施 終日活動	5(3)	収入 1,239,500 円
畑	牧大根	9-11月 不定期	15	収入 30,000 円
箸内職	箸数え・箸袋詰め・納品	通年実施 終日活動	12(1)	収入 117,084 円
電子部品内職	電子部品袋詰め	通年実施 午前活動	13(1)	収 106,414 円
製菓	材料買出し・製菓作り・販売	6-9月以外 実施	4(1)	収入 27,400 円
洗濯	乾燥機がけ・洗濯たたみ・配布	通年実施 週1回	3	収入 42,500 円
シーツ交換	シーツ交換	通年実施 月2回	2	収入 23,000 円

施設内消毒	手すり消毒・下駄箱掃除・ゴミステーション掃除	通年実施 午前活動	1	収入 24,000 円
あい・わーくす	烏川緑地帯清掃	11 月 月 3 回		収入 30,567 円
セルフ委託	松本合庁清掃・安曇野合庁清掃	通年実施 月 2-3 回	17(1)	収入 141,663 円
	メール便封入	5 月・10 月 終日活動	3	収入 14,426 円
安曇野市委託	保健センター草取り	6 月-9 月 月 2 回	8	収入 20,000 円
リサイクル	空き缶潰し・プルタブ取り・換金・回収・分別	通年実施 週 1 回	4	収入 8,407 円

(活動材料費 650,642 円・ひより本人支給金 984,590 円) 収入合計 2,153,160 円

主たる提携店舗等（販売先等）

店 舗 名	販売品・内容等	備 考
㈱藤本商会	箸納品	毎週水曜日午後 納品
㈱田中電子	電子部品納品	毎日 納品
山風舎	マット販売委託 薪販売協力	
ぬくもり	マット販売委託	
ラノッキオ	薪販売：ピザ用小割り	
片桐林業	薪原木仕入れ	前年度 3 月 27.8t 7 月 40.16t
㈱シンコー	牛乳パック・アルミ缶リサイクル回収	

(2) 日中活動（デイ・同好会）

1) デイケア

デイケア名	所属人数	主な内容
ハビリ	約 30 (通所 5)	毎週水曜日に講師を招き実施。歌を唄いながら体操を行う。 開催回数 50 回 1 回 5,000 円 (3 月末現在 24 回実施)
アロマセラピー	約 15 (通所 3)	手や足のアロママッサージを行う。 開催回数 24 回 一人 1 回 500 円 (3 月末現在 12 回実施)
紙芝居	約 15 (通所 3)	月に一回社協の方が来寮され紙芝居を行う。開催回数 12 回
輪楽	12	平日午後マット編みの前段階の作業を行なう。 月 2,000 円のご苦労賃を支給。 月 1 回のお茶会
かなで	約 20	平日の午後音楽鑑賞や散歩などを行う。
ビデオ鑑賞	全員対象	毎週土曜日に食堂のプロジェクターを使いビデオ鑑賞を行う。 開催回数 40 回
職員と話そう	全員対象	祝祭日に利用者と職員が話す時間を意図的に設ける。開催回数 12 回

医務関係	全員対象	血圧・体重測定 血圧は月2回 体重は月1回 (血圧3月末現在24回実施、体重3月末現在12回実施) 爪切り耳垢点検 (約50回) (3月末現在50回実施) 歯ブラシ点検 (12回) (3月末現在12回実施) 歯磨き指導 (入所7回、通所2回) (3月末現在9回実施)
暮らしの活性化	全員対象	一泊旅行・日帰り旅行・担当主導個別計画に出かける。 (3月末現在30件中、30グループ実施) 随時計画・実施中。

2) 同好会

同好会名	所属人数	主な内容
書道同好会	9 (通所2)	第二・三土曜日に講師を招き書道を行う。 開催回数24回1回4,000円(3月末現在11回実施)
花壇同好会	3	ボランティアの方と花壇の手入れを行う。ボランティアの都合もあり不定期。
思い出話し同好会	12	日曜日午前ボランティアと写真等見ながら昔のことを振り返えったり散歩をしたり等を行なう。開催回数36回

(3) 健康管理

- H27.1月より正規看護師2名と、パート看護師1名、2号研修修了者1名の体制になりました。
- 入院者は、実人数7名ですが、一人複数回の入院があり延べ11回、315日でした。高齢化に伴い、がん、誤嚥性肺炎、などの疾病が増えています。
- 救急搬送や、時間外緊急通院は、転倒や、肺炎など高齢化に伴うものが増加しています。また、ターミナルケアを行う中での、夜間、休日の緊急通院、往診が多数ありました。嚥下不良の方が多く、食事内容や介助方法を工夫していますが、突然の発熱から急遽入院を要する状態になることも多く見られました。認知症も顕在化し、予期せぬ行動からの事故も増えています。
- 5月に1名、9月に2名、11月に2名、12月に2名の方が亡くなりました。寮内では5名の方の看取りを行いました。5月に亡くなられた方は、ターミナルケアを始めてから一年を経過された方で、老衰でした。酸素吸入を希望され、2週間ほど飲食がかなわず、職員も気の抜けない日々でしたが、今までの経験で、頻繁な計測などは行わず、穏やかな最期に向けてのケアができたと思います。9月にはがん末期の方がお二人、続けて無くなりました。お一人は施設で、お一人は希望されて入院した病院で最期を迎えられました。施設で出来ること、病院で出来ること、ターミナルケアが一様ではないことを学ばせていただきました。11月にも2名の方が続けて亡くなり、12月にも2名の方がお一人は病院で亡くなられました。現在、2名の方のターミナルケアを行っています。日中の看護師体制は整いましたが、夜間緊急時の体制には不安が残ります。また、ご家族の休憩所などにも課題が残っています。
- 昨年度より往診歯科を導入したため、歯科通院回数は増えていますが、歯槽膿漏等で抜歯をするケースは減っています。
- インフルエンザ、感染性胃腸炎などは、職員、職員家族の罹患はありましたが、利用者の感染はありませんでした。

(4) 食 事

- 調理委託業者と食生活委員会を毎月1回開催しており、食事の日常業務がスムーズに運営で

きるように検討しました。特に課題提起や問題点の調整を行いました。また、変化のある食事で行事食やバイキング食、業者企画のメニューなど提供しました。

- 2) 栄養ケア・マネジメントを実施し利用者の低栄養に対するリスクの判定、食事形態、栄養状態の判定を随時確認することで問題点を早期対応できるよう他職種と連携して行ないました。
- 3) 加齢に伴いに機能低下、認知症による摂食・嚥下機能が低下し誤嚥性肺炎のリスクも高くなっています。食事形態についてもきざみ食やミキサー食、ソフト食、特別食の提供が増えています。また、ターミナルケアの方は量が少なくても「食べたい物、食べられる物」嗜好にあったものを提供しました。安定した栄養状態を確保するために栄養強化食品を提供しています。以上によりフードプロセッサーやミキサーの使用頻度が高く、消耗も早まっています。
- 4) 衛生面に配慮した清潔な食事スペースの設備で食堂のカーテン・食堂カウンター入れ替えなど行い、夏期の食中毒予防及び感染症対策に努め6月におしぼり導入しました。冬の感染予防対策として手洗いについて利用者向けの学習会を実施し、冬の感染症を乗り切りました。

(5) 事故・ヒヤリハット報告

受付総数 159件 (事故130件、ヒヤリ29件)

発生場所	件数	前年度	分類	件数	前年度	割合(%)
食堂	32	35	暴力	6	6	3.8
居室	13	48	転倒	41	47	25.8
浴室	3	6	転落	10	16	6.3
脱衣場	8	1	ずり落ち	2	5	1.3
トイレ	13	17	打撲	3	9	1.9
廊下	13	18	火傷、熱傷	2	0	1.3
作業室	0	2	切創	4	2	2.6
支援員室	6	6	誤嚥	2	3	1.2
医務室	4	0	薬	25	14	15.7
玄関	6	2	物損	39	21	24.5
通所	4	3	異食	1	4	0.6
他の建物内	5	19	その他	24	54	15
建物外	2	11	不明	0	0	0
グループホーム	5	3	合計	159	181	
敷地外	7	1				
その他	35	8				
不明	3	1				
合計	159	181				
				件数	前年度	割合(%)
			事故	130	142	82
			ヒヤリハット	29	39	18

(分析・考察)

- ・要介助の男性が脱衣場で転倒をし2Wの入院加療を強いられました。予後不良によっては重大な介護事故であることを厳しく職内に知らしめました。
- ・衣類(ポケットのクレヨン在)洗濯で多数の衣類に色染みを出しました。連絡先、謝罪先、損害賠償等規模拡大となることをあらためて認識することになりました。
- ・約束事を職員が違え、ご本人を混乱高揚に至らせ、スロープで単独転倒させてしまい、救急搬送となりました。障がい特性理解不足が招いた特徴的な事故でした。

(6) 苦情・相談受付

苦情受付総数 63件

25年度(年間総数42件)

項目	件数	主な内容
支援内容	33	<ul style="list-style-type: none"> ・ここの生活はいいけど特に代わり映えしない。二人部屋だけど誰だか知らない。 ・部屋のコールを鳴らしたけど、なかなか来てくれない。 ・洗濯にお預かりした衣類にクレヨンが入っており、洗濯した際複数の衣類を汚染してしまった。(18件) ・着ていた服に漂白剤が飛んだような後がついています。 ・寝るときにフリースを脱がさないまま寝かされました。 ・通院に行こうとしたら靴下が左右違っていました。 ・ショートステイを利用したときに自由にお茶を飲んだり、お汁のおかわりができませんでした。 ・トイレに入ったとき扉が半分開いていました。 <p style="text-align: right;">等</p>
設備・環境	11	<ul style="list-style-type: none"> ・窓の汚れが目立ちます。環境整備の折にでも清掃を行ってください。 ・廊下にごみが落ちていてそのままになっていました。 ・洗濯物が廊下においてありました。 ・寝ているときに部屋が暑い。 ・カーテンがカーテンレールから外れています。カーテンも汚れていました。 ・入浴しようとしたら浴槽のお湯がなく、シャワー浴になってしまいました。 <p style="text-align: right;">等</p>
職員	6	<ul style="list-style-type: none"> ・食堂で注意する声はかなり大声で行っており、気になりました。 ・仕事の指導方法や入浴時の関わりの言動が人を小ばかにしているようで堪えられない。 ・調子が悪いときに頓服薬を飲みたいといっても薬を出してくれない。 ・自分の好きなマットの柄を編みたいといっても「そんなじゃ売れない」と。「市松模様を編んで」と言われた。好きなマットが編みたい。 ・他の利用者と差別するような言動があった。 ・人をバカにしたようなことを言い、足をばたばたさせて笑われた。また、その方の特性をネタに「私もある」など、とてもいやな思いをした。
他利用者	6	<ul style="list-style-type: none"> ・夜遅くに話しかけたり、独り言を言っているので休めない。前に、注意しても改善されていない。 ・同じテーブルの2人がグルになって意地悪する。お茶をくれない。箸をくれない。 ・食事の時に同じテーブルの人が目を離れたすきに手づかみや箸で私の食事を取って食べてしまう。 ・利用者同士で「～ちゃん」と大きな話し声で部屋まで聞こえてくる。 ・食器の洗い直しをしていたのに突然「皆をいじめている」と言われたり、何でもかんでも部屋に来て言い、とてもしつこい。 ・精神科往診日に待っていると「じゃまだ」と恐ろしい顔でにらんだ。今は顔も見ると恐ろしくていやだ。
その他	7	<ul style="list-style-type: none"> ・家族会の会議の時間が延びる、言葉遣いについて、参加者がいつも決まっている。ご本人の衣類について服を買っているが洗濯はしないのかなど ・姉さんは豊科に住んでいて良く来てくれる。ここでいやなことは無く楽しく過ごしている。 ・入所後の様子をお話いただきました。 ・以前と比べ物にならないくらい安定していることに驚きました。 ・足が弱って思うように歩けなくなってきた。一人で思うように動けないのは切ない。ここで一番楽しいのは寝ている時です。 ・名古屋へ旅行に行きました。お盆に家に帰ってきました。など身近なことをお話いただきました。 ・通所の作業時、帽子をかぶる人とかぶらない人という。

申出者	件数	申出者	件数
-----	----	-----	----

入所利用者	8	GH入居家族	1
GH入居者	2	SS、TC 利用家族	3
SS、TC 利用者	1	通所利用家族	
通所利用者	4	第三者委員、代弁者	22
入所家族	2	その他	20
		合計	63

(主な苦情相談の対応コメント)

- ・ご家族より支援内容、職員の姿勢、家族会員などに不満が複数回寄せられました。誤解も多分に含んでおられましたので、都度、面前、TEL等でひとつ毎ご説明申し上げ、ご理解いただきました。
- ・食事同席の方からの捕食他害は席替えを行い、行為につきましては追加支援目としました。
- ・窓の汚れの指摘については、直ぐに対応いたしました。継続性については職員の姿勢改善が求められています。
- ・液状洗剤、薬品等にこだわりから衣類を汚したり、目に入れてしまう等の行為が止まず、共有場所含め収納保管を工夫することになりました。
- ・出かける際に靴下が左右違っていたことがあり、ご自分でもすぐに履き替えてしまう方であることから、外出時直前に再度確認させていただくこととしました。
- ・ショートステイ利用時、お茶や汁の御代りの制限に不満を持たれ、利用減退につながった。職員の関わり増により再利用となりました。
- ・通所利用者から職員の対応と言動に不満、改善要求あり。施設長及び室長より改善を求めると共に部内においても啓発活動を継続しています。
- ・暖房の温度調整にムラがあり、室温計を複数設置し小まめに調整するようにしました。

(7) 身体拘束・抑制 (H26.4.1~9.30) 11名 (H26.10.1~H27.3.31) 16名

具体的内容	性別	期間
尿道カテーテルを引き抜く行為があり拘束着用。行事や通院時など職員が一对一で一緒に過ごせる時は、拘束解除し普段着を着用している。	男性 Yさん 83歳	H26.3.1~継続中
起床時の事故(転倒)多発。自らの離床、歩行はリスクが高く、ベッド上転落防止帯を使用中。	男性 Kさん 86歳	H25.1.6~3月拘束解除
ご本人が自身の身体状況の理解に乏しく、そのため移動・移乗場面で転倒のリスクが高い。また単独での無理な立位等されたときなど怪我や転倒の危険性が高いため車椅子乗車時拘束ベルト使用。	男性 Aさん 65歳	H26.8.1~継続中
ベッド上で興奮状態になる事があり転落事故発生。以降4点柵使用し転落防止の安全確保を行なっている。	男性 Mさん 76歳	H26.4.1~12月拘束解除
誤嚥性肺炎にて入院後、立位、歩行が不安定。夜間興奮すること多く自らの離床、歩行はリスクが高く、ベッド上転落防止帯を使用中。	男性 Mさん 67歳	4点柵 H26.7.9~12月拘束解除 頓服(眠剤)
昼夜逆転による体調不良防止のため夜間不眠時の頓服(眠剤)を使用することがある。		H26.12月~継続中

転倒により硬膜下血腫発症。再度転倒による再発の恐れが有りベッド上転落防止帯使用。	女性 86歳 0さん	転落防止帯 H24.6.18～3月拘束解除
ベッドからの転落の恐れありベッドの4点柵での身体拘束を開始。		ベッド4点柵 H27.3月～継続中
夜間の起き出しにより睡眠確保が困難。日中の立位や歩行に支障が見られ、転倒につながっている。夜間ベッド上転落防止帯使用中。	女性 55歳 Sさん	H24.8.1～継続中
車椅子上では安全ベルトを使用24.4.1から。但し見守り可能時はソファ等で過ごす時間を多く確保している。		H24.4.1～必要に応じ使用
てんかん発作や歩行不安定により急な転倒があり脊椎パッド、ニーガード、ヘッドギア使用中。		H26.12～継続中
夜間起き上がり時に転倒リスクが高く、ベッド上で転落防止帯使用。	女性 70歳 Tさん	転落防止帯 H24.5.12～H26.11月拘束解除
左足麻痺の所見や動脈瘤と脳の萎縮もある。医師より歩行についての困難さを指摘され、車椅子中心の生活を送っている。ただ本人は現状理解が難しく、車椅子より立とうとして転倒の危険性が常にあるため、車椅子での拘束ベルトを使用している。		車椅子拘束ベルト H24.5.12～継続中
転倒により骨折（H25.2下旬）。危険防止、また夜間の睡眠確保の理由により転落防止帯をベッドへ設置しているが10月より使用せずセンサーマットを使用している。また日中、居室で過ごす際は椅子及び車椅子上で拘束ベルト使用。	女性 70歳 Tさん	H25.3.14～継続中
せん妄に陥り興奮状態になると、自傷行為（体を搔き毟る、壁を叩く）がある。その際は拘束ミトンを使用。	女性 79歳 Mさん	H26.4.22～11月ご逝去
精神薬の服薬をしている限り転倒のリスクはなくなる。もともと夜間にも行動されていたが、覚醒レベルが低い状態での歩行は危険。日中は車椅子で三点式拘束ベルトを使用。食事の際使用する椅子でもバックル式ベルトを使用。夜間はベッド上で転落防止帯の使用。	女性 61歳 0さん	H26.3.1～継続中
不穏になると大声を出して他者に影響が出てしまう。また興奮しだすとご自身では気持ちを抑えられなくなってしまうため医師より処方された頓服薬（精神薬）を不穏時に使用している。		H26.12～継続中
気になる事が多くなってしまうと興奮し行動が抑えられなくなり自傷につながってしまうため、医師より処方された頓服薬（精神薬）を不穏時に使用している。	男性 68歳 Tさん	H26.12～継続中
日中、いつも膝から落ちるように座るため膝を強打してしまい怪我の恐れがあるため、日中ニーガードの装着をしている。	男性 39歳 Mさん	H26.12～継続中
不安定になると被害妄想が出て無届外出や、気持ちが高揚してさまざまなことが気になってしまい抑えられなくなってしまうため、医師より処方された頓服薬（精神薬）を不穏時に使用している。	男性 61歳 Mさん	H26.12～継続中
興奮し行動が治まらなくなり他害や物に当たってしまうことがあるため、医師より処方された頓服薬（精神薬）を不穏時に使用している。	男性 51歳 Yさん	H26.12～継続中
てんかん発作や歩行不安定により急な転倒があり怪我をしてしまう恐れがあるため、歩行時にニーガードの装着をしている。	女性 40歳	H26.12～継続中

	0 さん	
幻覚などが見え生活に支障が出てしまう。不安定状態になると気にしたことに対し抑制が効かなくなり生活に支障をきたしてしまうため、医師より処方された頓服薬（精神薬）を不穏時に使用している。	女性 66 歳 T さん	H26. 12～継続中
不穏になると大声を出して他者に影響が出てしまう。また興奮しだすとご自身では気持ちを抑えられなくなってしまうため、医師より処方された頓服薬（精神薬）を不穏時に使用している。	女性 70 歳 H さん	H26. 12～継続中
歩行が不安定で膝から落ちるように座るため膝を強打してしまい怪我の恐れがあるため、日中ニーガードの装着をしている。		H26. 12～継続中

コメント

- ・月 1 回身体拘束委員会を開催し、現状把握と解除に向けた話し合いの場を設けています。また対象利用者の状況に応じ解除、実行をその場で判断し、ご家族、関係者への連絡も含め迅速な対応に努めています。担当職員にも拘束時間を少しでも減らせるように一緒に考え支援計画を立てています。
- ・やむを得ず拘束を継続する場合、また拘束の種類が変更となる場合は申請書を作成し、ご家族の同意を得ています。継続は 3 ヶ月、変更はその都度のご連絡となります。
- ・あらたにヘッドギア等防具や精神薬、眠剤などの頓服薬についても身体拘束の対象としてご家族に説明をしました。

2. 施設運営の状況

H27. 3. 31 現在

- (1) 施設入所支援（定員 50 名・現員 40 名） 27. 2. 1 付定員 40 名に変更
退所利用者 7 名（逝去） 1 名（療養型病床群へ移行）
入所利用者 2 名 42. 7 名/日
- (2) 生活介護（定員 59 名）
施設入所支援併用 40 名 30 歳から 87 歳
生活介護通い 15 名 31 歳から 81 歳 54. 2 名/日
- (3) 生活訓練（定員 6 名）
利用者 8 名 20 歳から 48 歳 4. 6 名/日
- (4) 共同生活事業 グループホーム（みどりの樹定員 5 名みそら定員 6 名 現員 11 名）
33 歳から 81 歳 10. 6 名/日

1) 《みどりの樹》賃貸家屋

入居利用者 5 名（男 4 名・女 1 名）、世話人 4 名の体制 宿直体制 家賃 10 万

氏名	性別	年齢	区分	日 中 活 動 先
T. S	男	6 8	2	穂悠生活介護
T. O	男	4 0	未	穂悠生活訓練
H. S	男	6 3	2	穂悠生活介護
H. T	男	3 3	2	ま・めぞん就労継続 B 型 5 / 週 穂悠日中一時支援 1 / 月
Y. F	女	7 4	4	穂悠生活介護

2) 《みそら》賃貸家屋

入居利用者 6 名（男 1 名・女 5 名）、世話人 4 名の体制 宿直体制 家賃 13 万

トイレ、洗面所などを改修し食堂に AC を設置しました。

氏名	性別	年齢	区分	日 中 活 動 先
M. Y	男	8 1	4	宅老所ひまわり (月・水・金・土) 穂悠生活介護 (火・木)
M. O	女	7 2	3	穂悠生活介護 (月・火・水・木・金)
Y. T	女	7 0	3	穂悠生活介護 (")
S. H	女	6 2	2	穂悠生活介護 (")
K. K	女	3 9	4	穂悠生活訓練 (月・水・金)
Y. N	女	3 9	2	穂悠生活訓練 (月・火・水・木・金)

- 3) 世話人、共同生活事業部職員でケアホームの定例会を各ホームで毎月開催しています。
また、防災訓練、設備等の点検整備を毎月行なっています。

(5) 短期入所・タイムケア事業

短期入所利用者 18名 585日 1.7名/日
日中一時支援 4名

(6) 相談支援事業

福祉サービス利用や障がいや病状の理解、不安の解消等の支援を行うと共に、行政、医療、年金、就労、権利擁護等の専門機関及び関係機関と連携し、情報共有をしながら支援をしています。

1) 相談者の障がい種別 (人)

総数	知的障がい	身体障がい	精神障がい	発達障がい	うち児童	その他
67	41	3	15	8	(10)	0

2) 相談形態 (件)

総数	来所	訪問	同行支援	代行	電話・FAX・メール	その他
1798	94	232	34	26	1328	84

3) サービス等利用計画 (件)

サービス等利用計画(者)	モニタリング(者)	障害児支援利用計画(児)	モニタリング(児)
42	91	6	6

(7) 防災関係

火災、震災発生時等の有事に備え、危機管理室を中心に消防計画に基づき、避難誘導訓練等を行いました。

〈訓練等の状況〉

月 日	訓練内容等	参加者	備考
5月30日	避難誘導・通報・消火 (豊科消防署立会)	利用者4名・世話人1名・他2名	GH:みどりの樹
5月30日	避難誘導・通報・消火 (穂高消防署立会)	利用者4名・世話人1名・他2名	GH:みそら
7月1日	避難誘導・通報・消火	利用者43名・通所16名 職員20名	
10月7日	避難誘導・通報・消火 (穂高消防署立会)	利用者6名・世話人1名・他2名	GH:みそら
10月17日	避難誘導・通報・消火 (豊科消防署立会)	利用者4名・職員1名・他2名	GH:みどりの樹

9月7日	昼間・総合防災訓練(牧区合同) (地震・火災避難誘導) ※牧区主催の訓練へ参加	利用者46名・職員22名の ※牧区へ職員10名参加	
11月27日	避難誘導・通報・消火(穂高消防署立会) (建物:「ひより」より出火を想定)	利用者66名・通所22名 職員9名	通所利用者中心
2月24日	避難誘導・通報・消火(穂高消防署立会) (夜間職員2名を想定)	利用者40名・職員2名 応援協力職員16名	短期利用者2名含む
3月6日	避難誘導・通報・消火(穂高消防署立会)	利用者4名・世話人1名・他2名	GH:みそら
3月6日	避難誘導・通報・消火(豊科消防署立会)	利用者4名・職員1名・他2名	GH:みどりの樹

※自主点検:毎月1回 6月26日消防署立入調査 4月10日・10月9日消防設備点検

- ・常念の家2Fに誘導灯を設置しました。
- ・8月火災通報装置を更新しました。

(8) ボランティアの受入れ 受入れ実績 延べ113名

1) 施設行事 延べ 18名
(納涼祭・納涼バイキング・賀の祝い・悠秋の集い・クリスマス忘年会・ひなまつり)

2) その他

同好会 延べ 10名 個人1名(花壇)
 余暇支援 延べ 27名 3団体(紙芝居・アニマルセラピー・手話)
 環境整備 延べ 13名 個人1名 2団体(ローターアクト・松工OB)
 交流会 延べ 25名 穂高南小学校
 学生ボラ 延べ 20名 穂高西中学校・飯田女子短期大学・松本歯科大学

- ・日中活動、行事担当者と連携をとりながら、余暇支援、行事などの活動調整を行いました。
- ・学校授業の一環として学生ボランティアの問い合わせがあり、環境整備・利用者交流等で受け入れをしました。
- ・新たに個別支援の一環として、手話ボランティアの受け入れを行いました。

3. 人材育成・職員研修

(1) 職場内研修の主な内容

- ・防災機器の使用法とAEDの取扱い説明(4月)
- ・救急救命講習会(5月) ※松本広域消防局 穂高消防署協力
- ・事例検討会(8月) 外部講師:松本大学 矢崎 久氏
- ・入浴研修(9月)
- ・気付きトレーニング(オリジナル研修)(9月)
- ・知的障がい者のある人の心のケアについて(10月) ※職員行動規範の読み合わせ含む。
- ・人権学習会(パートI) ※グループワーク、セルフチェックリストを活用 (12月)
- ・感染症(嘔吐物処理)について (12月)
- ・人権学習会(パートII) ※グループワーク、標語の作成
- ・行動療法について(2月) ※支援経過説明、ロールプレイの実施
- ・第36回知的障がい福祉大会の発表(VTRや報告書に添って実施)
- ・他 コンサルテーション 下村真紀子氏 (毎月1回)

(2) 外部・専門研修及び資格取得の主な内容

- ・障がい者相談支援従事者研修 長野県相談支援専門員協会（1名）
- ・OJT研修 県社協（1名）
- ・福祉職員生涯研修（中堅職員課程） 県社協（1名）
- ・新任職員研修会 知障協（2名）
- ・摂食、嚥下研修 介護福祉士会（1名）
- ・福祉職員生涯研修 県社協（1名）
- ・自閉症、発達障害、強度行動障害児・者への支援 知障協（1名）
- ・ミドルマネージャー等中堅職員研修 知障協（1名）
- ・『2時間毎の体位交換って本当なの？』 介護福祉士会（1名）
- ・中信地区世話人研修 中信地区自立支援協議会（1名）
- ・社会福祉施設における感染症・食中毒の発生及び蔓延防止 松本保健福祉事務所（4名）
- ・成年後見制度について講演 成年後見支援センターかけはし（6名）
- ・認知症における事例検討会 介護福祉士会（SDS3名）

（3）法人研修

- ・法人内施設研修〔派遣〕（6名）
 ※駒ヶ根1名、喬木1名、上田1名、はらむら1名、喬木1名、須坂1名
- ・危険予知訓練（3名） ・新採用職員集合研修（1名）
- ・現任研修（主任・副主任）（2名） ・介護研修（3名）

4. 地域支援・交流

4月24日	道祖神花見 老人クラブ6名	8月26日	納涼祭2名 牧区ふれあいサロン2名
5月23日	市民生児童協議員会研修 21名	9月7日	牧区合同防災訓練 11名
6月29日	牧区ふれあいサロン 2名	9月28日	草競馬 3名
7月 3日	産業視察教員研修 16名	11月9日	市消防団送水訓練
通 年	周辺道路・河川堰堤環境整備	3月1日	牧区ふれあい芸能祭 15名

5. 利用者家族・家族会との連携

（1）行事参加

行 事 名	日 時	ご家族参加者数	内 容
花見・道祖神祭り準備	4月20日	13名	周辺環境整備
花見・道祖神祭り	4月24日	16名	利用者、老人クラブと交流
環境整備	7月12日	22名	環境整備、職員交流焼肉会
納涼祭	7月26日	17名	利用者、職員と交流
悠愁の集い	10月4日	18名	利用者、職員と交流
漬物、環境整備	11月29日	19名	野沢菜、大根漬け込み他
環境整備(計画外)	12月3日	6名	落ち葉浚い

（2）会議等

会 議 名	日 時	参加人数
正副会長監事会	4月5日	4名
第1回会総会	5月18日	15名 委任
転入新職員3名歓迎会		21名

後援会総会	6月20日	2名
家族会連合会総会	7月4日5日	4名
県福祉大会 第5分科会壇上発表3名	11月20日	7名
正副会長会	1月14日	3名
家族会理事会	1月24日	会長参加
正副会長会	3月11日	2名
第2回会総会 転退職員6名送別会	3月22日	12名 委任20名

- ・ 改選にともない正副会長、監事1名が新任されました。
- ・ 顧問2名が第三者委員として相談受付を開始いたしました。
- ・ 法人格の是非につきましてお計らいしました。
- ・ 私的利用料等についてご通知もうしあげました。
- ・ 預かり金定期監査 4/24・8/27・10/15・3/11

6. 施設整備

(単位：千円)

項目	金額	備考
給水受水槽移設新設	15,174千	経年劣化 設計監理648千含む
薪作業用倉庫	3,348千	作業合理化・雪害対策
第一駐車場舗装補修	972千	経年劣化
居室床張替え	692千	衛生管理
厨房トイレ自動水洗	159千	24年保健所指導
厨房排水パン張替え	172千	経年劣化
テラス支柱等塗装	810千	経年劣化
南下洗面所流し修繕	162千	経年劣化
施設看板塗装	151千	経年劣化
常念の家庇、樋修繕	226千	経年劣化
浄化槽オーバーホール	178千	定期保守
火災通報装置	410千	自然災害
車椅子用体重計	214千	耐用限
業務用炊飯器	129千	耐用限
シャワーキャリー	151千	2台 入浴介助用
ロビーチェア	196千	2台 利用者用 根橋様寄附
フードプロセッサ	123千	耐用限 根橋様寄附
三相對応発電機	309千	防災対策 根橋様寄附
洗面所・トイレ改修	777千	みそら 身心機能変化対応
エアコン	145千	みそら 食堂暑さ対策

--	--	--

7. 利用者の状況(施設入所)

年齢構成は最高齢者が男性87歳 女性86歳。最低年齢が男性39歳、女性30歳です。

(1) 利用者年齢別一覧 男性21名 女性19名 (H27.3.31)

年齢階層	49以下	50～54	55～59	60～64	65～69	70以上	平均	
性 別	男性	2	2	0	3	5	9	66.90
	女性	3	0	1	2	3	10	65.95
計	5	2	1	5	8	19	66.43	

(2) 利用者障害支援区分 男性21名 女性19名 (H27.3.31)

年齢階層	1以下	2	3	4	5	6	平均	
性 別	男性	0	0	1	3	5	12	5.33
	女性	0	0	0	4	4	11	5.40
計	0	0	1	7	9	23	5.37	

(3) 在寮期間 男性21名 女性19名 (H27.3.31)

区分	1年未満	1年～3年未満	3年以上～5年未満	5年以上～10年未満	10年以上
男性	1	2	2	6	10
女性	1	1	3	3	11
計	2	3	5	9	21

(4) 介護等の状況 (H27.3.31)

移動	実数	食事	実数	入浴	実数	着脱衣	実数
歩行補助具	4	一部介助	8	一部介助	12	一部介助	20
車椅子使用	15	全介助	13	全介助	24	全介助	14
移動不能	0						

(5) - 1 生活介護利用者の状況(通い) 15名 (H27.3.31)

性別	年齢	利用開始	出身地	区分	性別	年齢	利用開始	出身地	区分
男性	81	H22.4	松本市	4	女性	72	H22.4	安曇野市	2
男性	68	H22.4	松本市	2	女性	70	H22.4	安曇野市	3
男性	58	H23.10	安曇野市	2	女性	62	H22.4	松本市	2
男性	64	H24.4	諏訪市	2	女性	69	H22.4	安曇野市	2
					女性	64	H22.4	安曇野市	2
女性	33	H24.7	安曇野市	3	女性	64	H23.11	安曇野市	2
女性	62	H23.5	安曇野市	2	女性	74	H25.8	松本市	4
女性	62	H25.4	安曇野市	2	女性	31	H27.1	安曇野市	4

- 2 生活訓練利用者の状況 8名 (H27.3.31)

性別	年齢	利用開始	出身地	区分	性別	年齢	利用開始	出身地	区分
男性	48	H22.4	安曇野市	2	女性	39	H25.2	朝日村	2
男性	40	H23.6	安曇野市	未	女性	29	H25.1	安曇野市	2

男性	20	H24.6	安曇野市	未	女性	39	H25.4	安曇野市	4
男性	21	H26.5	安曇野市	2	女性	26	H26.3	安曇野市	2

(6) 食事形態別分類

食事内容一覧表

(H27.3.31)

内 容		月 日	4/1	3/31	備 考
主食	一般食		22	18	
	軟食		18	16	
	流動食		3	4	
副食	一般食		15	14	
	一般食きざみ		20	15	
	軟菜		0	0	
	軟菜きざみ		0	0	
	とろみ・ミキサー・ゼリー食		8	9	
経管栄養食			2	2	
入 院			1	0	
対象者数			46	40	

(7) 健康度別食事分類

内 容		月 日	4/1	3/31	備 考
健康管理療法 医師の指示による	カロリー制限食		19	15	*脂質異常食12含む
	減塩食		4	4	
	補食		8	9	
	糖尿病食		4	5	
	高血圧食		4	4	
	腎心臓病食		0	0	
	透析食		1	1	
	肝臓病食		0	0	
	潰瘍食		4	3	
	イレウス食（腸閉塞）		1		
	貧血食		4	3	
	その他（痛風）		3	3	

				*食事箋(療養食) 18名
--	--	--	--	---------------

栄養 ケア メン マ	低リスク	30	20	
	中リスク	14	16	BMI やせ 15~19 未満 肥満 26~30 未満 血清アルブミン 3.0~3.5 g/dl 経腸栄養
	高リスク	1	4	褥瘡

(8) 受診状況

(H27.3.31)

	延人数	実人数	昨年度延人数	昨年度実人数
内科系	314	41	380	44
精神科系	203	34	228	32
外科系	80	26	67	23
耳鼻科系	67	14	92	15
婦人科系	11	5	16	8
皮膚科系	103	31	92	30
眼科系	42	26	32	20
歯科系	175	33	165	30
その他	224	16	247	13
合計	1219	46人中	1319	46人中

(9) 定期健康診査

項目	頻度	項目	頻度
血液検査・尿検査・心電図	年1回	大腸検診(希望者)	年1回
胸部レントゲン	年1回	マンモグラフィー(希望者)	1回/2年
嘱託医による内科検診	年12回	子宮がん検診(希望者)	1回/2年
乳房健診	年1回	血圧測定	年24回
歯科検診	年1回	体重測定	年12回
眼科検診	年1回	身長、腹囲測定	年1回
胃検診(希望者)	年1回		

(10) 入院状況

(H27.3.31)

歳	性	病名	期間	日数	歳	性	病名	期間	日数
79	女	統合失調症	4/1-4/22	22	80	男	大腿骨頸部骨折	9/2-9/15	14
66	男	誤嚥性肺炎	5/6-7/9	65	80	男	誤嚥性肺炎	10/25-11/9	16
59	男	肺炎、膿胸、がん末期	5/26-8/8	75	66	男	誤嚥性肺炎	11/20-12/2	13
79	女	誤嚥性肺炎、統合失調症	6/13-8/7	56	67	女	誤嚥性肺炎	11/22-12/8	17
72	男	肝内胆管がん	6/30-7/8	9	68	男	虚血性腸炎	12/6-12/20	15
59	男	肝がん末期	8/28-9/9	13					

25年度全期 延べ 7件 実人数7名 延べ143日 死亡 2名(内2名は施設内看取り)

26年度全期 延べ11件 実人数7名 延べ315日 死亡 7名(内5名は施設内看取り)

(11) 救急車要請

(H27. 3. 31)

年齢	性別	症状	月 日	転帰 (備考)
66	男	誤嚥性肺炎	H26. 5. 6	入院 (火曜・9時)
59	男	肺炎	H26. 5. 26	入院 (月曜・10時)
59	男	急性腹症	H26. 8. 28	入院 (木曜・19時)
80	男	大腿骨頸部骨折	H26. 9. 2	入院 (火曜・13時)
年齢	性別	症 状	月 日	転帰 (備考)
67	女	誤嚥性肺炎	H26. 11. 22	入院 (土曜・10時)
79	女	心不全	H26. 11. 23	死亡 (日曜・19時)
68	男	虚血性腸炎	H26. 12. 6	入院 (土曜・16時)
64	女	顔面打撲	H26. 3. 12	検査後帰寮 (木曜 18時)

救急車要請を含まない夜間、土曜午後、休日、時間外緊急通院、往診 15 件

(12) 疾病状況

(H27. 3. 31)

科	病 名	人数	科	病 名	人数
悪性腫瘍	肝臓がん	2	外科	【外科】	
	すい臓がん	1		痔・脱肛	9
精神科	てんかん	13		そけいヘルニア (手術)	1
	てんかん性精神病	0		切り傷 (縫合)	1
	統合失調症	7		【整形】	
	心因反応	0		右足第 5 指骨折	1
	水中毒	0		左大腿骨頸部骨折	1
	認知症	11		右大腿骨骨幹骨折	1
	【その他精神障害・疾患】			骨髄炎	1
	不眠症	19		偽痛風	1
	器質性精神障害	1		膝関節症	2
	その他	21		骨粗鬆症	2
内科	【消化器疾患】			捻挫	8
	胃腸炎	8		打撲	6
	胃潰瘍 ・ 十二指腸潰瘍	3		爪はがれ、化膿等	4
	逆流性食道炎	4		滑液包炎	1
	便秘症	41		【脳外科】	
	B 型肝炎	2		脳梗塞 (病後の内服者含む)	3
	C 型肝炎	1		脳出血	0
	肝機能障害	5		(その他の脳外科疾患)	
	肝硬変	0	頭部打撲	3	
	胆石	2	眼科	白内障	13
	(その他消化器疾患)			緑内障・高眼圧	4
	経管栄養	2		翼状片	1
	憩室	2		【その他の眼科疾患】	
食道裂孔ヘルニア	4	結膜炎		7	

	胃・大腸ポリープ	1		黄斑変性症	1	
	【内分泌・造血機能疾患】			麦粒腫・霰粒腫	1	
	糖尿病（疑含む）	6		網膜症	2	
	貧血	3		網膜はく離術後	1	
	（その他内分泌等）			角膜炎	3	
	甲状腺機能低下	2		ドライアイ	1	
	抗リン脂質抗体症候群	1		結膜下出血	2	
内科	血小板減少性紫斑病	1		ぶどう膜炎	1	
	高尿酸血症・痛風	9	耳鼻科	難聴	4	
	脂質代謝異常症	15		副鼻腔炎	1	
	【循環器疾患】			中耳炎・外耳炎	5	
	不整脈	2		アレルギー性疾患	0	
	高血圧症	17		鼻出血	1	
	低血圧症	2		メニエル氏病	4	
	心不全	2		外耳道狭窄	1	
	狭心症	1		耳垢塞栓	6	
	W P W症候群	0		皮膚科	白癬・真菌症	30
	（その他の循環器疾患）				乾燥性皮膚炎	21
	下肢浮腫	3	褥創		5	
	電解質異常	7	湿疹・かぶれ		18	
	左心流出路狭窄	1	アレルギー性疾患		6	
	【呼吸器疾患】		帯状疱疹・ヘルペス		1	
	慢性気管支炎	2	【その他皮膚科疾患】			
	肺炎	5	イボ・良性腫瘍		3	
	喘息	2	にきび・化膿疹		5	
	肺結核	0	潰瘍・壊疽		1	
	（その他の呼吸器疾患）		魚の目・胼胝	4		
インフルエンザ	0	膿疱性乾癬	1			
感冒	18	歯科	齲歯	8		
【その他内科疾患】			歯肉炎・歯周炎	24		
パーキンソン症候群	1		義歯調整	7		
泌尿器科	前立腺肥大		3	歯根打撲	1	
	慢性腎不全（透析含む）		1	舌リンパ腫	1	
	腎結石	0	埋伏歯	1		
	水腎症	0	婦人科	更年期障害	0	
	【その他泌尿器科疾患】			子宮筋腫および術後	1	
	尿路感染	5		【その他婦人科疾患】		
	神経因性膀胱	10	先天性	ダウン症候群	3	
	糖尿病性腎症	1		聾啞	2	
腎機能低下	2	脳性まひ		7		
			魚鱗癬	1		

(13) リハビリ対象者と内容

(H27. 3. 31)

内 容	人数	内 容	人数
歩行練習	8	座位保持練習	2
起立練習	1	協調運動練習	1
立位保持練習	0	拘縮予防	8

- ・安曇野赤十字病院より月1回理学療法士訪問指導。
- ・支援員で毎日リハビリ実施。個別にリハビリメニュー作成。(実人数 20名)

8. 職員の状況

正規男性	1名	生活支援員	平成26年4月1日付	採用
正規女性	1名	生活支援員	平成26年6月1日付	復職
正規男性	1名	生活支援員	平成26年4月1日付	転入(須坂)
正規男性	1名	生活支援員	平成26年4月1日付	転入(はらむら)
正規女性	1名	生活支援員	平成26年9月1日付	転入(上田)
常勤女性	1名	看護師	平成27年1月14日付	採用
短労女性	1名	看護師	平成26年5月31日付	退職
正規男性	1名	生活支援員	平成27年3月31日付	退職
正規女性	2名	生活支援員	平成27年3月31日付	退職
正規女性	1名	生活支援員	平成27年3月31日付	定年退職(27.4.1再雇用)
短労女性	1名	生活支援員	平成27年3月31日付	退職
短労男性	1名	世話人	平成27年3月31日付	退職

(H27. 3. 31)

	正職員	準職員	雇 員	短時間	合計
男	13			4(共3)	17
女	17	1	2	15(共5)	35